

ふるさとの文学

講師：坂根 俊英（県立広島大学名誉教授）
定員 30 名 全 5 回 12,000 円（学生料金 6,000 円）
火曜日 13:30～15:00

講座の趣旨



文学作品は、作家や詩人の生まれ育った郷土の影響を強く受けています。この講座では、山口県と広島県の文学者の中から代表的な四人を選んでとりあげ、その故郷と文学との関係を中心として、お話ししたいと思います。

まず、詩人として金子みすゞと中原中也、そして作家として鈴木三重吉と井伏鱒二を選びました。このほかにも多くの文学者がいますが、最終回では広島的主要な文学者をとりあげてまとめたいと思います。郷土と文学の関係に関心お持ちの方々に興味深い話題をご提供できればと願っています。どうぞお越しくださいませ。

講座の内容

第1回	4月10日	金子みすゞと仙崎	—— 海と魚の詩人
第2回	5月8日	中原中也と山口	—— 川とメルヘン
第3回	6月12日	鈴木三重吉と広島	—— 「千鳥」の抒情
第4回	7月10日	井伏鱒二と備後	—— 「なつかしき現実」の文学
第5回	9月11日	広島文学	—— 夕凧、島々、中国山地



講師紹介：坂根 俊英(さかね としひで)

1944年、山口県生まれ。広島大学大学院文学研究科修士課程修了。
尾道短期大学、県立広島大学（2009年3月まで）教授。
専門は「日本近代文学」現在、県立広島大学名誉教授。
日本近代文学会、日本社会文学会の会員。
主要著作『萩原朔太郎 一詩の光芒一』溪水社（1997年刊）等。

受講をご希望の方は、「講座名」①お名前・②連絡先住所をご記入の上、E-MailもしくはFAXにてお申込みください。

コミュニティ・アカデミー上幟 広島市中区上幟町 10-15-201 島田ビル 2F
TEL&FAX：082-225-8103 E-Mail：c.a.kaminobori@outlook.jp